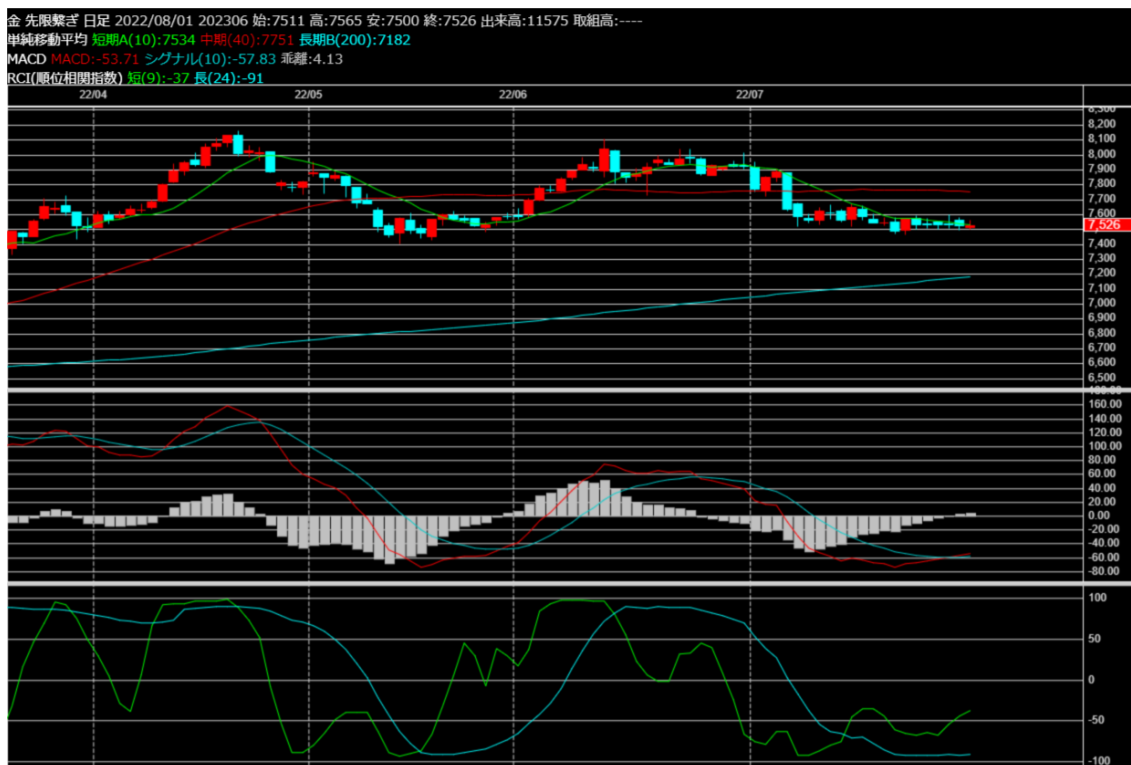


＜金標準先物、5月から6月に掛けての上昇相場に類似・・・＞



(出所：オアシス)

FOMC では 2 会合連続で 0.75%の利上げを実施し、FF レート目標レンジを 2.25%~2.50% へ引き上げている。パウエル FRB 議長は記者会見で景気減速には「米国経済がリセッションに陥っているとは考えていない」と言及している。しかし翌日発表された第 2 四半期 GDP・速報値では、事前予想を下回る -0.9%となるなど、前回の -1.6%と合わせてリセッションの定義である 2 連続のマイナス成長となった事から、景気後退懸念が高まりを示している。そのため過度なインフレ抑制の利上げ観測が後退し、債券が買われて金利は低下するなど、為替市場ではドルインデックスのロングポジションの巻き戻しでドル安が進み、ドル建て NY 金は 1700 ドルを維持しながら、週末には 1780 ドルまで戻りを見せている。

特に金標準先物は円建て価格であり、急速な円高は戻りを抑える動きに結び付くが、バックグリーンへ流れていた資金が金利低下で NY 金の見直し相場が強まっており、そのため 7500 円で下げ渋る値動きを 8 日間続けるなど底堅さを見せている。特に今週は、パウエル FRB 議長が景気後退を否定する根拠である雇用統計を控えており、経済指標の発表で一喜一憂する値動きには注意が必要と思われる。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** が切り上げながら **シグナル** を上回る強気転換を示すクロスが発生している。また RCI では **短期** が上昇するなど、底固めが終わった可能性も高いと思える。特に日足が **10 日移動平均線** に沿って動いており、上回る事が出来ると 5 月から 6 月に掛けて上昇した値動きに類似して来ると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,547,000 円(2022 年 8 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 8 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>